



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社 アドバンスト・メディア
 コード番号 3773 URL <http://www.advanced-media.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 鈴木 清幸

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理本部長 (氏名) 立松 克己

TEL 03-5958-1031

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,257	31.5	277	115.0	265	14.3	214	23.0
2019年3月期第2四半期	1,716	20.5	129	36.1	309	150.4	278	126.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 94百万円 (61.8%) 2019年3月期第2四半期 246百万円 (112.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	11.72	
2019年3月期第2四半期	15.96	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	11,719	10,336	87.0
2019年3月期	11,360	10,231	88.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 10,194百万円 2019年3月期 10,071百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	17.5	800	10.5	730	19.7	650	31.4	35.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社では通年での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想を省略しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	18,272,724 株	2019年3月期	18,267,524 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	133 株	2019年3月期	133 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	18,269,323 株	2019年3月期2Q	17,425,627 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、音声認識ビジネスを人工知能などの付加により、価値を増幅させたBSR（超音声認識）ビジネスに進化させ、2020年3月期までのBSR導入期、2023年3月期までのBSR展開期、2026年3月期までのBSR拡大期を経て、3年間の売上高をそれぞれ2倍（年平均30%増）、BSR拡大期の最終年度で営業利益率30%を実現することを計画しております。

そのような計画のもと、BSR導入期3カ年の最終年度である当連結会計年度につきましては、今までの主力のプロダクト販売やソリューションビジネスというフロービジネスの拡大と、新たなAmiVoice®クラウドプラットフォーム（ACP）とAmiVoice®クラウドサービス（ACS）のライセンス販売及びサブスクリプションビジネスを進めてまいります。ACPとはAmiVoice®音声認識エンジンのクラウド経由の利用環境であり、ACSとは当社開発のAmiVoice®音声認識エンジンを利用したクラウドサービスのことを言います。

当第2四半期連結累計期間においては、当社のコア技術である「AI音声認識」（AIにより認識精度などが向上した音声認識：AmiVoice®）や「音声AI」（音声認識を含む音声処理を前提としたAI技術：AmiAgent®）による、ライセンス販売及びサブスクリプションビジネスとソリューションビジネスが堅調に推移いたしました。

その結果、売上高に関しましては、BSR1（第一の成長エンジン）においては、CTI事業部が大幅に増収したこと等により前年同期比35.0%増となりました。また、BSR2（第二の成長エンジン）においては、ビジネス開発センターが大幅に増収したこと等から、前年同期比24.0%増となりました。よって、当社グループ全体では、前年同期比31.5%の増収となりました。

損益に関しまして、営業利益につきましては、BSR1（第一の成長エンジン）において、ほぼ全ての事業部で増益したこと等により前年同期比110.1%増と大幅な増益となりました。一方、BSR2（第二の成長エンジン）においては、連結子会社のAMIVOICE THAI CO., LTD.（タイ王国）と株式会社グラモの赤字幅拡大が影響し、前年同期比で減益となりました。よって、当社グループ全体では、BSR1（第一の成長エンジン）の大幅な増益によって、前年同期比で115.0%増と大幅な増益となりました。経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期に為替差益を計上したものの当第2四半期連結累計期間では為替差損を計上したこと等から、前年同期比で減益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,257百万円（前年同期は売上高1,716百万円）、営業利益277百万円（前年同期は営業利益129百万円）、経常利益265百万円（前年同期は経常利益309百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は214百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益278百万円）となりました。

音声事業の各分野別の状況は、以下のとおりであります。

BSR1の状況

	売上高	(前年同期比)	営業利益	(前年同期比)
BSR1（第一の成長エンジン）	1,782百万円	35.0%増	467百万円	110.1%増

CTI事業部（BSR1）

コンタクトセンター市場において競合企業が参入してきているものの、当社のAI音声認識ソリューション「AmiVoice® Communication Suite」の認識精度や機能、導入実績等の競争優位性の強化に加えて、パートナー連携を強化することで、シェアの拡大を進めました。そのような中、ソフトバンク株式会社のコンタクトセンターに採用されるなど、大型案件の獲得を進めました。

STF事業部（BSR1）

金融機関を中心にお客様との商談での会話をAI音声認識で文字化することで、コンプライアンスの徹底や業務の効率化を図る提案を進めました。また、ダイバーシティ（聴覚障害者・多言語等）コミュニケーション支援ツールを展開している複数の企業で、提供しているAI音声認識クラウドサービス「AmiVoice® Cloud」の利用量が増大しました。

医療事業部（BSR1）

病院における働き方改革の浸透に伴い効率的にカルテ入力や帳票/報告書作成等を行うニーズの高まりから、医療向けAI音声入力ソフト「AmiVoice® Ex7」シリーズの販売が堅調に推移しました。また、医療向けのiOS版AI音声入力キーボードアプリケーション「AmiVoice® SBx Medical」や、医療向けのAI音声認識ワークシェアリングサービス「AmiVoice® iNote」などもモバイル版の販売/普及を進めました。

VoXT事業部 (BSR1)

前期に引き続き、働き方改革の浸透に伴い効率的に議事録作成を行うニーズの高まりから、AI音声認識を活用した議事録作成支援システム (AmiVoice® MinutesWriter) や議事録向けAmiVoice®クラウドサービス (ProVoXT) の採用が、地方自治体、大手民間企業や報道機関等で進みました。また、パートナー企業を増やすとともに、連携を強化することで販売/普及を進めました。

BSR2の状況

	売上高	(前年同期比)	営業損失	(前年同期比)
BSR2 (第二の成長エンジン)	502百万円	24.0%増	△190百万円	—

海外事業部・ビジネス開発センター (BSR2)

海外事業部は、中国語版AI音声認識AmiVoice® エンジンのさらなる認識精度向上や中国向けコールセンター製品の開発等の研究開発に重点的に取り組みました。

ビジネス開発センターは、建設業界向け建築工程管理のプラットフォームサービス「AmiVoice® スーパーインスペクションプラットフォーム (SIP)」のユーザー企業数が増加しました。あわせて、同クラウドサービスを利用した人材 (AISH^注) サービスも堅調に推移しました。

注) AISH (アイッシュ) とは「AI Super-Humanizing (AI によるスーパーマン化)」のことを言います。

連結子会社等 (BSR2)

AMIVOICE THAI CO., LTD. (タイ王国) は、想定していた大型案件の獲得が進まず、当初計画を下回りました。

株式会社グラモは、大手賃貸アパート会社への提案や導入に向けたトライアルを進めました。一方で、既存大口顧客の案件獲得が想定を下回ったこと等から、当初計画を下回りました。

株式会社速記センターつくばは、自治体向け・裁判所向け・民間向け案件の受注獲得等を進めました。

株式会社Rixioは、ビジネス拡大に向けた社内体制の構築と収益構造の強化を進めました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は8,185百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円増加いたしました。これは主に売上債権の回収により現金及び預金が219百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は3,533百万円となり、前連結会計年度末に比べ281百万円増加いたしました。これは主に本社移転により建物等が増加したことによるものです。

この結果、総資産は11,719百万円となり、前連結会計年度末に比べ358百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,208百万円となり、前連結会計年度末に比べ242百万円増加いたしました。これは売上代金等の前受金181百万円の増加、本社移転等に関する未払金155百万円の増加等によるものであります。固定負債は173百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は1,382百万円となり、前連結会計年度末に比べ252百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は10,336百万円となり、前連結会計年度末に比べ105百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益214百万円の計上等によるものであります。

この結果、自己資本比率は87.0% (前連結会計年度末は88.7%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月10日付で公表した連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,484,622	6,704,421
受取手形及び売掛金	1,263,388	1,089,860
電子記録債権	74,900	34,474
商品及び製品	100,391	136,746
仕掛品	7,489	19,383
原材料及び貯蔵品	52,446	44,305
未収入金	6,030	5,338
その他	122,288	153,309
貸倒引当金	△2,780	△2,382
流動資産合計	8,108,778	8,185,457
固定資産		
有形固定資産		
建物	84,833	177,546
減価償却累計額	△41,331	△8,758
減損損失累計額	△32,655	△3,090
建物(純額)	10,845	165,697
その他	221,047	260,879
減価償却累計額	△155,424	△140,318
減損損失累計額	△10,926	△4,942
その他(純額)	54,696	115,618
有形固定資産合計	65,542	281,316
無形固定資産		
ソフトウェア	273,573	322,054
ソフトウェア仮勘定	76,293	55,962
のれん	15,666	11,049
その他	115	115
無形固定資産合計	365,649	389,181
投資その他の資産		
投資有価証券	2,176,725	2,188,477
敷金及び保証金	183,315	189,629
長期前払費用	243,939	230,681
繰延税金資産	59,485	82,787
その他	157,468	171,529
投資その他の資産合計	2,820,933	2,863,104
固定資産合計	3,252,124	3,533,602
資産合計	11,360,903	11,719,059

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,966	128,404
短期借入金	75,004	100,000
1年内返済予定の長期借入金	9,000	12,324
未払金	208,130	363,874
未払法人税等	118,340	81,851
前受金	247,837	429,147
その他	174,441	92,923
流動負債合計	965,720	1,208,524
固定負債		
長期借入金	156,084	158,260
資産除去債務	7,821	15,536
固定負債合計	163,905	173,796
負債合計	1,129,625	1,382,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,868,417	6,871,755
資本剰余金	5,876,092	5,879,431
利益剰余金	△2,837,155	△2,623,881
自己株式	△226	△226
株主資本合計	9,907,128	10,127,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	159,420	59,360
為替換算調整勘定	5,397	7,685
その他の包括利益累計額合計	164,817	67,045
新株予約権	-	4,082
非支配株主持分	159,331	138,530
純資産合計	10,231,277	10,336,738
負債純資産合計	11,360,903	11,719,059

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	1,716,886	2,257,770
売上原価	495,460	724,086
売上総利益	1,221,425	1,533,683
販売費及び一般管理費	1,092,145	1,255,794
営業利益	129,280	277,888
営業外収益		
受取利息	19,676	21,877
受取配当金	-	9,552
為替差益	128,840	-
投資事業組合運用益	21,043	10,234
持分法による投資利益	10,187	-
雑収入	1,500	2,447
営業外収益合計	181,249	44,111
営業外費用		
支払利息	771	1,060
為替差損	-	50,692
持分法による投資損失	-	4,868
雑損失	153	-
営業外費用合計	925	56,622
経常利益	309,604	265,378
特別損失		
固定資産除却損	-	6,612
関係会社清算損	-	417
特別損失合計	-	7,030
税金等調整前四半期純利益	309,604	258,347
法人税、住民税及び事業税	37,531	45,265
法人税等調整額	-	20,849
法人税等合計	37,531	66,114
四半期純利益	272,072	192,232
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,961	△21,880
親会社株主に帰属する四半期純利益	278,034	214,113

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	272,072	192,232
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,266	△100,059
為替換算調整勘定	4,965	1,683
持分法適用会社に対する持分相当額	△794	604
その他の包括利益合計	△25,095	△97,771
四半期包括利益	246,977	94,460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	252,938	116,341
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,961	△21,880

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	309,604	258,347
減価償却費	93,608	118,531
のれん償却額	1,855	4,617
固定資産除却損	-	6,612
持分法による投資損益(△は益)	△10,187	4,868
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,970	△397
株式報酬費用	-	4,304
受取利息及び受取配当金	△19,676	△31,429
支払利息	771	1,060
投資事業組合運用損益(△は益)	△21,043	△10,234
為替差損益(△は益)	△128,038	53,649
売上債権の増減額(△は増加)	444,534	215,279
たな卸資産の増減額(△は増加)	△44,417	△40,105
前払費用の増減額(△は増加)	16,930	△6,937
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,686	△4,596
未払金の増減額(△は減少)	△5,672	△63,659
未払費用の増減額(△は減少)	△21,010	△30,368
前受金の増減額(△は減少)	92,662	181,241
その他	△71,677	△39,465
小計	623,584	621,318
利息及び配当金の受取額	21,330	34,425
利息の支払額	△771	△1,060
法人税等の支払額	△73,256	△82,268
法人税等の還付額	953	324
営業活動によるキャッシュ・フロー	571,841	572,739
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△700,000	△1,200,000
定期預金の払戻による収入	100,000	1,418,487
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△23,781	-
有形固定資産の取得による支出	△24,902	△17,212
出資金の分配による収入	20,700	-
無形固定資産の取得による支出	△132,222	△125,534
投資有価証券の取得による支出	-	△149,992
貸付けによる支出	-	△20,000
貸付金の回収による収入	-	11,400
敷金及び保証金の差入による支出	△4,165	△7,417
敷金及び保証金の回収による収入	-	1,119
保険積立金の積立による支出	-	△14,060
その他	9,525	△160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△754,847	△103,371
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	150,000
短期借入金の返済による支出	△33,335	△125,004
長期借入れによる収入	-	10,000
長期借入金の返済による支出	△416	△4,500
新株予約権の行使による株式の発行による収入	2,990,400	-
自己株式の取得による支出	△14,280	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,992,369	30,496
現金及び現金同等物に係る換算差額	129,427	△53,810
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,938,791	446,053
現金及び現金同等物の期首残高	4,237,053	5,053,290
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,175,844	5,499,344

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。